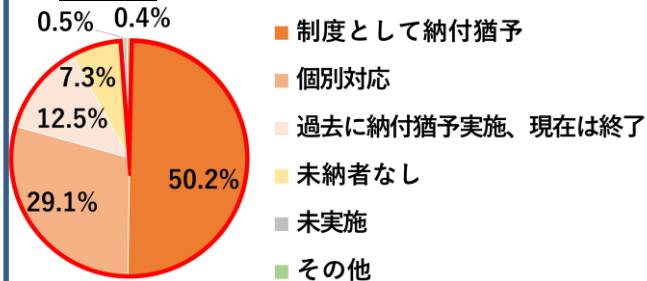


新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への支援状況等に関する調査

- 調査対象：全国の国公立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校
- 調査期間：令和2年9月2日～（10月14日時点：回答率99.4%）
- 調査趣旨：各大学等における**経済的に困難な学生に対する支援状況や退学者の状況等**について調査

令和2年度前期授業料の納付猶予

- これまでに、**全体の99.1%の大学等において、前期分の授業料の納付猶予を実施**（授業料の未納者がいない場合も含む）。



- 大学等の学生総数に占める前期授業料の納付猶予者数の割合は、6.76%（昨年度4.52%）であり、**より多くの学生に対して、猶予制度や、個別の対応を行っている**ことがうかがえる。

令和2年度後期授業料の納付猶予

- 全体の97.5%の大学等において、納付猶予や納付猶予の締め切り延長を既に行っている又は行う予定（検討中を含む）。**

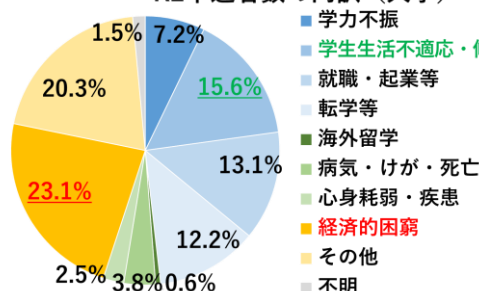
中途退学者の状況（4月～8月の状況を比較）

- 全体の93%の大学等において、退学の相談があった場合の修学継続に向けた対応方針**について、学内で適切に方針を検討し、適切に対応。
- 学生数に占める4月～8月の中退者数の割合は、令和2年度と令和元年度で大きな変化は無い。**中退の主な理由は、**経済的困窮**（R2：23.1%、R1：22.1%）、**学生生活不適応・修学意欲低下**（R2：15.6%、R1：15.9%）などで、昨年度と比べても同等。

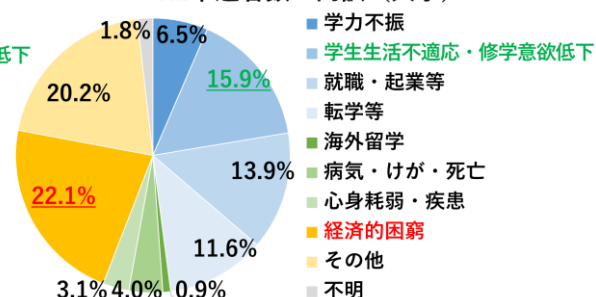
大学（大学院生を含む。）	R2 （4月～8月）	R1 （4月～8月）
	割合	割合
学生数（a）	2,969,337人	2,969,003人
中退者数（b）	11,411人	14,239人
学生数に占める中退者数の割合（b/a）	0.38%	0.48%

※高等専門学校における学生数に占める中退者数の割合については、R2年度で0.09%（R元年度0.17%）。

R2中退者数の内訳（大学）



R1中退者数の内訳（大学）



(参考：当該調査により把握している各大学の具体的な支援内容など)

1. 各大学等における経済的に困難な学生を支援するための取組について

- 経済的に困難な学生を支援するため、**全体の92.7%の大学等において、何らかの支援（授業料等減免または大学独自の支援）**を行っている。
- また、大学独自の支援措置の内容としては、**給付措置（60.4%）、貸与措置（32.6%）、物品支援（44.2%）**と様々。

(具体的な支援内容の例)

●給付措置

- ✓ 一律又は経済的に困難な学生を対象に現金を給付
- ✓ 図書カードやクオカード、市内共通商品券などの給付

●貸与措置

- ✓ 無利子による貸付など

●物品措置

- ✓ パソコンやWi-Fiルーターの無償貸与
- ✓ 校内実習のためのフェイスシールドの提供
- ✓ 生活面の支援として食品（お米、地域特産品等）の提供

●その他

- ✓ 送料・大学負担による図書の貸し出しサービスの実施
- ✓ 学内アルバイトや学内活動（TA・ピアサポーター）への奨励費支給など
- ✓ 学生寮の減免や一時利用など

2. 各大学等における退学を防ぐための工夫について

- 各大学等において、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、**学生生活不適應や、心身耗弱、経済定期困窮等による退学を防ぐために、様々な工夫**が行われている。

(具体的な取組の例)

●学内の組織体制の整備

- ✓ 自粛下における学生の精神面や遠隔授業の利点、注意点などに関する資料を作成し、教員に配信（オンラインセミナーの開催）
- ✓ 学外の組織（社会福祉協議会や福祉保健局、ジョブカフェなど）の専門的に支援につなぐ仕組みの整備

●学生に身近な立場からのきめ細かな対応

- ✓ チューター、担任やゼミの教員が個別に相談対応の実施
- ✓ 学生相談窓口による相談対応の実施
- ✓ 「修学継続チェックリスト」を活用した面談の実施

●オンライン等の活用

- ✓ 対面に限らないメール、電話、Web会議システムによる相談対応
- ✓ 学生のストレスチェックをWebで実施
- ✓ 学生にストレス対処法や、体操やストレッチの動画配信
- ✓ オンラインによる学生同士の交流会や、セミナー等の開催
- ✓ オンラインによる留学生への日本語学習支援、就職サポート

●専門家との連携

- ✓ 臨床心理士、精神科医と連携した面談の実施（オンライン含む）

●その他

- ✓ コピー機の利用負担額の支援
- ✓ 遠隔授業への適應が困難な学生へのPC設定やオンライン受講サポート